



東京理科大学

維持会レター

第33号

vol.33 2021.1



学校法人 東京理科大学 理事長

本山 和夫

新年あけましておめでとうございます。維持会会員の皆様には、日頃から本学の教育・研究に対しご理解を賜り、誠にありがとうございます。

世界中で猛威を奮った新型コロナウイルス感染症は、皆さまの日常を変えたばかりか、大学にも過去に経験したことのない深刻な影響をもたらしました。

本学では、コロナ禍における教育・研究の継続、特に学生の学びの継続を支援すべく、新たな奨学金・支援金を創設するとともに、遠隔授業に対応する機器の貸し出しなど、迅速かつ大規模な支援を行っており、皆さまより頂戴しました「維持拡充資金（第二期）コロナ支援金」も当該支援等に活用させていただいております。

今年も建物の改修や感染対策の設備を充実させる等、学生・教職員の安全と健康を守りつつ教育研究活動の推進を図ってまいります。

さて、既にご案内のとおり、今年は本学が創設 140 年を迎える節目の年となります。21 人の若き青年理学士たちは、今から 140 年前の 1881 年に東京物理学講習所を創設しました。彼らは、「科学によってより良い社会を作る」という理想を胸に「維持同盟」を結成し、昼間は別の仕事をしながら、夜は無給で教壇に立ちました。「休講すれば金を徴収する」といった維持同盟の厳しい規則によって、現在まで続く東京理科大学の隆盛の基礎が築かれたのです。

以来 140 年、この創設者たちの想いと、その精神を受け継ぐ先人たちの努力により、本学は我が国屈指の理工系総合大学へと発展しました。私たちも、創設者たちの高潔な理想を受け継ぎ、そしてまた次の時代へと引き継いでいかなければなりません。

既に 140 周年事業として、大学の更なる飛躍に向け、ソフト・ハードの両面から様々な施策を進めております。野田キャンパスでは、一昨年に竣工した新 7 号館に続き、昨年は新実験棟が竣工しました。神楽坂キャンパスでは、近代科学資料館を全面的にリニューアルし、本学の歴史を紹介する展示も充実させました。今年、葛飾キャンパスでも 2025 年の薬学部移転に向け、新棟の工事を着工する計画です。

また、かねてより準備を進めてきた学部・学科再編計画の端緒として、本年 4 月に、基礎工学部の先進工学部への改組と併せて、経営学部国際デザイン経営学科が誕生します。

今後も、維持会の皆様からのご支援を有効に活用させていただくべく、理事会、教職員一丸となって大学改革に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

皆様にとって 2021 年が幸多き年となることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

「家計急変学生支援」へのご寄付の御礼と継続支援のお願い

2020年12月

学校法人東京理科大学理事長 本山 和夫
東京理科大学学長 松本洋一郎
東京理科大学維持会会長 酒井 陽太
東京理科大学理窓会会長 増淵 忠行

新型コロナウイルス感染症の猛威は、未だ終息の見込みがたたない状況ですが、このような状況下においても、社会を支えるべくご尽力頂いている医療関係者をはじめとする皆様に心より感謝申し上げます。

本学では、学生の安全と健康に最大限配慮しながら、5月1日よりオンラインによる講義を開始し、後期においてはオンライン授業の改良に加え、一部で対面による授業を再開する等、より良い教育を提供できるよう努力を続けております。今後も感染の状況に留意し、感染拡大を防止しつつ、教育と研究の継続に努めて参る所存でございます。

また、経済的に学業の継続が困難な学生に対する支援策として、保護者等の家計急変や学生本人のアルバイト収入が激減した学部学生、大学院学生を対象とした授業料の減免や、10万円の支援金の給付制度を新設し、その費用の一部に充当することを目的に「維持拡充資金（第二期）コロナ支援金」の募集をお願いさせていただきました。

同募金には、維持会の皆様を中心に、11月末までに1,500万円を超えるご寄付をいただき、教職員一同、深く感謝し心より御礼申し上げます。

しかし、新型コロナウイルスの感染状況は予断を許さない状況です。本学では、今後も将来を担う意欲ある学生が経済的な理由により修学を断念することのないよう、きめ細やかな支援を継続して参る所存です。

皆様方におかれては、厳しい社会情勢のもと恐縮ではございますが、引き続きのご支援を賜りたく、よろしくお願い申し上げます。

【維持拡充資金(第二期) 寄付額】

(2020年4月1日～2020年9月30日)

個	人	42,169,253円
団	体	500,000円
		<small>(4,500,000円は個人の累計に算入します。)</small>
こ	う	2,735,000円
よ	う	
会		
法	人	7,000,000円
合	計	52,404,253円

**維持拡充資金(第二期) について
(2019年度分報告)****【2019年度 維持拡充資金(第二期) 寄付総額】**

(2019年4月1日～2020年3月31日)

個	人	71,054,010円
団	体	100,000円
こ	う	32,093,780円
よ	う	
会		
法	人	232,100,000円
合	計	335,347,790円

—訃報—

栄誉会員 森戸 祐幸 様 (もりと ゆうこう = 80 歳)

令和 2 年 11 月 20 日ご逝去されました。昭和 39 年東京理科大学理学部第一部応用化学科卒。平成 11 年から常任維持会員、維持会会長・副会長として維持会の運営に関わり、募金活動の推進にご尽力いただきました。

栄誉会員 重倉 祐光 様 (しげくら ゆうこう = 89 歳)

令和 2 年 10 月 1 日ご逝去されました。元諏訪東京理科大学学長。平成 16 年から常任維持会員、維持会顧問として維持会の運営に関わり、募金活動の推進にご尽力いただきました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。